

報道関係者 各位

2021年5月25日
 国立成育医療研究センター

「コロナ×こどもアンケート」第5回調査報告

先生や大人に相談しづらくなっているこどもたち過半数

身体的・精神的健康低下の可能性も

国立成育医療研究センター（所在地：東京都世田谷区大蔵 2-10-1 理事長：五十嵐隆）の社会医学研究部・こころの診療部を中心としたグループ「コロナ×こども本部」は2021年2月～3月に実施した「コロナ×こどもアンケート」第5回調査の全体報告をまとめました。第5回調査では、コロナの影響を大きく受けたこの1年間のふり返りに焦点をあてて調査を行い、全国のこどもや保護者あわせて3,191名にご協力いただきました。

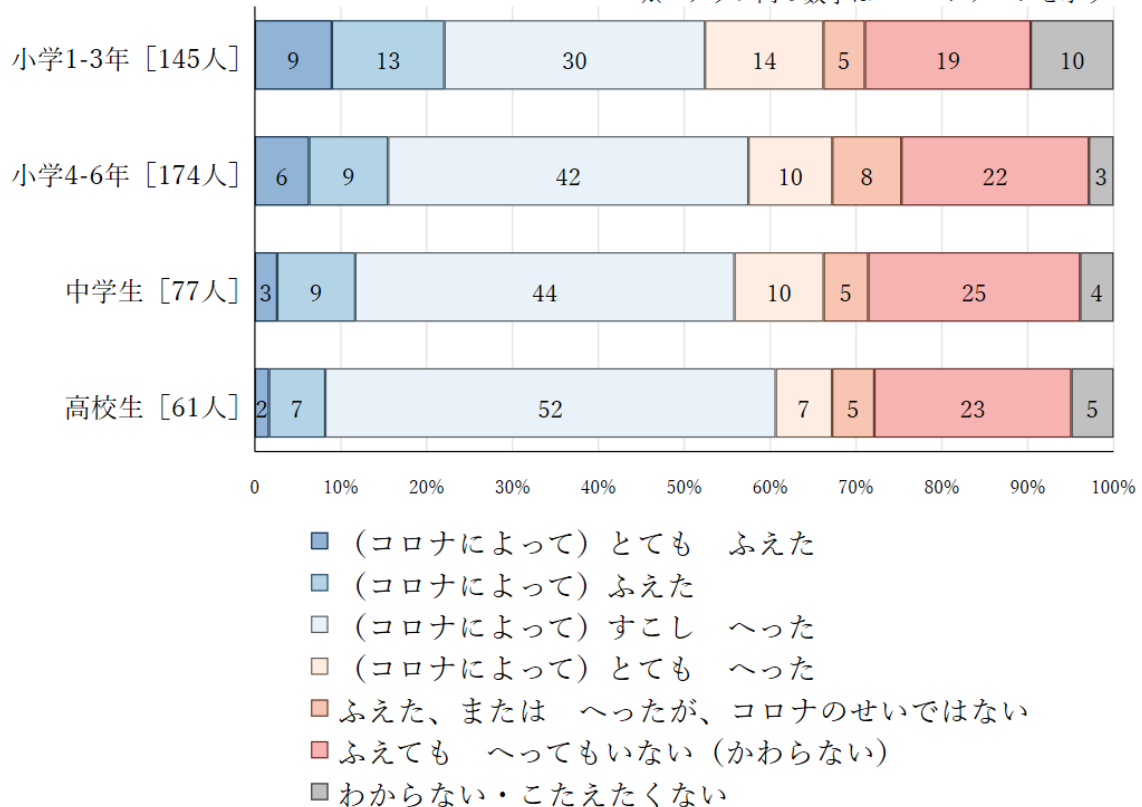
今回の調査では、コロナの影響で先生や大人に話しかけたり相談したりしづらくなっていると回答したこどもが半数以上にのぼりました。また、これまでの同調査と比較して様々な側面でQOLが悪くなっている可能性が示唆されました。

なお、第5回調査の報告書全文は、国立成育医療研究センター「コロナ×こども本部」のページで公開しています。

https://www.ncchd.go.jp/center/activity/covid19_kodomo/report/finreport_05.html

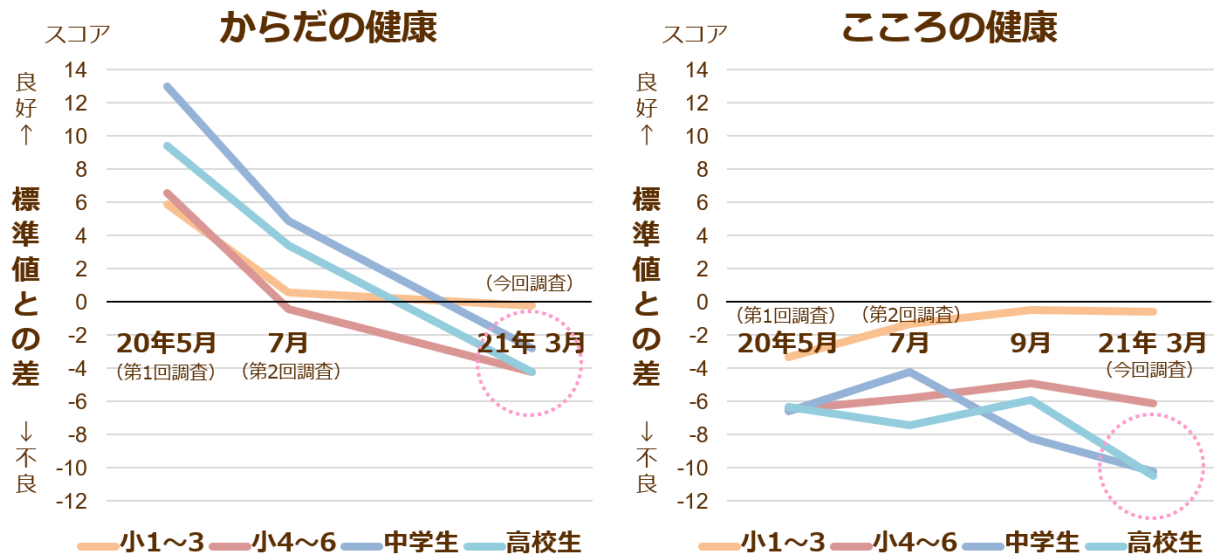
先生や大人への話しかけやすさ・相談しやすさ

※ グラフ内の数字はパーセンテージを示す



【第5回アンケート調査報告書より抜粋（こどもの回答）】

からだところの健康（日本語版「KINDL-R」尺度）



【第5回アンケート調査報告ダイジェスト版より抜粋（こどもの回答）】

*コロナ×こどもアンケートの同調査項目と比較（ただし、対象者集団は同一ではない）
対象調査：からだの健康は、第1、2、5回調査。こころの健康は、第1、2、3、5回調査
調査手法や詳細は報告書 P24～を参照

【プレスリリースのポイント】

- ・ コロナ×こどもアンケート第5回調査には、全国のこども 501 名、保護者 2,690 名、計 3,191 名の方々にご協力いただきました。
- ・ 回答したこどもの 46%が、友だちと話す時間がコロナによる影響で（とても・すこし）減ったと回答しました。
- ・ 回答したこどもの 51%が、先生や大人への話しかけやすさ・相談しやすさがコロナによる影響で（とても・すこし）減ったと回答しました。
- ・ 回答したこどもの 15%が、自分の体を傷つけること（髪の毛を抜く、自分をたたくなど）があると回答しました。
- ・ こども回答における身体的健康は、全年齢群で以前の調査時よりも低い結果でした。
- ・ 中高生における精神的健康は、以前の調査時よりも低い結果でした。
- ・ 回答した保護者の 52%が、こどもと過ごす時間がコロナによる影響で増えたと回答しました。
- ・ 回答した保護者の 60%が、子育てについてプライベートで気軽に話せる相手や機会がコロナによる影響で（とても・すこし）減ったと回答しました。
- ・ 回答した保護者の 72%が、子育てについて相談できる公的な場や機会（子育て広場・健診・保護者会など）がコロナによる影響で（とても・すこし）減ったと回答しました。
- ・ 回答した保護者の 82%が、こどもを自由に遊ばせられる場や機会（公園や子育て広場など）がコロナによる影響で（とても・すこし）減ったと回答しました。
- ・ 回答した保護者の 83%が、こどもが同世代と遊べる場や機会（園や学校、子育て広場、個人的な交友など）がコロナによる影響で（とても・すこし）減ったと回答しました。

【背景】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックにより、こどもたちの生活も大きく変わりました。おとなと比べて声をあげることが難しいこどもたちが、いまでのような状況に置かれているのか、おとなたちはこどもたちのために何ができるのか、を明らかにし、現場に届けるとともに、社会に問いかけるための調査です。

第1回の調査では主に流行初期の緊急事態宣言中のこどもたちの生活や健康の様子を、第2回の調査では学校や保育園が再開されてからのこどもたちの様子や新型コロナに関する意識（スティグマ）を、第3回調査では生活の変化やこどもの権利を、第4回ではうつ症状を中心としたこころの状態などに着目して調査を行いました。

今回の調査では、1年間を振り返ってコロナによる様々な影響をどうとらえているかに着目して調査を行いました。質問内容の検討には、こどもたちの力も借りました（[コロナ×こども会議](#)）。

【今後の展望】

第5回調査は、新型コロナウイルスの感染流行第3波が落ち着いた後、第4波直前にあたる2021年2月から3月にかけて実施しました。こどもたちのストレス・こころの状態・セーフティネットワークの不足など様々な問題が長期化、表面化しています。第4波で感染者が急増している現在はより深刻になっている可能性があります。本調査の結果をぜひ多くの方に知っていただき、こどもたちの状況を改善していくためのきっかけ・ヒントにしてくださいましたら幸いです。

当初1年間を予定していた「コロナ×こども本部」プロジェクト、「コロナ×こどもアンケート」調査ですが、期間を延長して継続していく予定です（次回アンケート時期は現時点で未定です）。今後ともよろしく願いいたします。

【参考資料】

<調査の特徴>

- ・新型コロナウイルス感染症流行期における、こどもたちと保護者のストレスや不安、生活環境の変化、それに伴う心身の健康状態の現状を明らかにし、問題の早期発見や予防・対策に役立てることを目的としています。
- ・こども自身の声を聞くことで、こどもたちが感じていること、こどもが抱える問題、その改善点を社会に発信していきます。また、こどもの心身の健康には、保護者の心身の健康が密接に関係しているため、こども・保護者双方の声を聞くことを重視して、調査を行っています。
- ・調査に協力してくださるお子さまや保護者の方ご自身が、自分や家族の心身の問題を早期発見することに繋げていただけるようにという点にも留意して調査を設計しています。
- ・調査は、2021 年度内にも数回実施し、その都度、調査結果を公開していくことを予定しています。
- ・LINE 公式アカウント「コロナ×こども本部」では、調査協力依頼や結果のお知らせのほかに、こどもたちやそのご家族に今日から役立てていただける情報を、専門家がセレクトして随時発信しています。

<調査の方法>

- ・対象は、①小学生から高校生（相当）までのこども、および、② 高校生（相当）以下のこどもがいる保護者、です。
- ・当センターのホームページ内に本調査ホームページを開設し、調査目的・説明などを掲載するとともに質問項目のフォームを作成しています。回答は匿名で、説明・同意（代諾を含む）・回答はすべてオンライン上で行われます。
- ・調査への参加呼びかけは、若年層を中心に利用者割合が高い LINE や SNS (Facebook、Twitter) を積極的に活用して行っています。報告書記載の協力団体にも参加呼びかけにご協力いただきました。また、メディアにも紹介いただき、さまざまな媒体を通じて、多くの地域、多様な社会背景をもつ幅広い参加者から回答を得ることで、実態を正しく把握したいと考えています。調査の特性上、回答率は計算できません。
- ・第5回調査は、2021年2月19日～3月31日に実施しました。LINE「コロナ×こども本部」、Facebook（国立成育医療研究センター 広報アカウント）と twitter（国立成育医療研究センター 広報アカウント）のほか、協力団体、メディアを通して参加を呼びかけました。
- ・第5回の調査実施期間は、新型コロナウイルスの感染流行第3波が落ち着き、第4波が到来する前の、感染者数が比較的少なかった時期です。この時期のこどもたちの生活状況、健康、生活の質（Quality of Life）、ストレス反応・メンタルヘルス、1年をふり返っての様々な変化などを、基本属性とあわせて尋ねました。回答は、こどものみ、保護者のみ、その両方、から選べる形式にしました。
- ・第5回調査は、科学技術振興機構 新型コロナウイルス感染症関連国際緊急共同研究・調査支援プログラム J-RAPID「新型コロナウイルス流行期におけるこどもの健康・生活に関する全国調査（コロナ×こどもアンケート）」（代表：森崎菜穂）として実施されました。

<こころ×子どもメール相談>

国立成育医療研究センターは、コロナ禍において多くの悩みを抱えている子どもたちを心配しています。「大人から暴力や暴言を受けている」「いじめられている」「生きていることがつらい」「誰も話をきいてくれない」「眠れない」など、ちょっとでも辛いと感じたらメールで相談してください。一緒に考えさせてください。

相談期間	2021年12月31日まで継続しています!
時間	土曜・日曜・祝日 15:00~22:00
対象	18歳までの子どもたち
相談方法	メールで相談 (メールアドレス: kodomo-liaison@ncchd.go.jp) ※この相談は、メールでのみ受け付けていて、病院での診療は行っていません。
メールの返信について	皆さんからのメールをもらった当日22時までに、まず1度返信します。相談内容によっては、返信までに少しお時間をいただくこともあります。
相談担当	国立成育医療研究センター こころの診療部 医師、心理士など

<こどもが無料相談できる場所>

国立成育医療研究センターコロナ×こども本部では、こどもが無料で相談できる場所や相談先を探すサイト(いずれも一部)を、リストにまとめて公開しています。

https://www.ncchd.go.jp/center/activity/covid19_kodomo/CxC_ConsultationList_20200615.pdf

<本件に関する連絡先>

国立研究開発法人国立成育医療研究センター

広報企画室 近藤・村上

電話: 03-3416-0181 (代表) Email: koho@ncchd.go.jp